

加茂健康づくりウォークの記

8月6日（土） 高松城址周辺コース

リオ五輪開幕。これから17日間に亘って306種目で熱戦が繰り上げられる。猛暑の夏がますます熱気に包まれる。暦の上では明日は「立秋」だが、連日秋の気配は想像しにくい猛暑日。予報によれば、昼間の最高気温は35℃位。早い切り上げを思いながら、軽装にして家を出る。

◇7時高松公民館集合。準備体操をして、岩崎用水沿いの道を花房陣屋の前を通って国道180号を渡り立田地内に入る。



◇蛙ヶ鼻築堤跡に着き、堤防調査遺跡を見学して、持宝院に入る。



◇持宝院にある文英石仏の十一面観音石仏像を見て、堀尾茂助の陣所に使われた御崎神社に参拝。



◇県道高松長野線を渡り、ごうやぶから宗治公自刃跡碑に廻り、城址公園内に入る。



◇気温も上がり藤棚の下で小休止をし、本丸跡に向かう。辞世の歌碑の前で記念写真を撮り、首塚その他の碑を巡る。



◇資料館に引き返し、入館してビデオを見せてもらい帰路に着く。国道180号線を越え、公民館に帰着。次回の連絡をして9:40解散。歩数、8,850歩余。



夏季のウォークのため、今年は近距離の城址周辺コース巡りに設定したが、比較的行き慣れたコースではあっても新鮮な感覚で楽しむことができた。猛暑の中を頑張ったが、後半に計画している遠出のウォークも無事達成できることを希うのみ。